

.....お知らせ.....

「久仁京介かこむ会」

松崎 昂 英

昨年10月に新規の発明特許を3件取得しました。

これで取得した特許権は合計11件になります。そのうちの3件は、上越新幹線に関わるものです。三条～新潟間は、国内の新幹線では最も軟弱地盤に建設されました。

基礎が建設されてから40年近くになるが、その間に中越地震、中越沖地震、東日本大震災と三回大きな地震があったが基礎は安泰である。

基礎の設計は、ボーリング調査によって測定された地盤の強度「N値」によって設計される。僕が開発した「アキバペネテスター」が採用された。特許第1号で32歳のときでした。

上毛高原駅と高崎駅の間に「中山トンネル」がある。

地上は、太古の昔火山の噴火で土砂が推積して「中山峠」となっている。

トンネルは中山峠の地上350メートルの深さのところを通っている。

施行していた大手ゼネコン「大林組」の現場から、突然圧力30kg/cm²の水が一気に噴き出した。（消防自動車の放水口の圧力は半分の15kg/cm²）

重量が10トンもあるマシンは吹き飛ばされ、トンネルは吹き飛ばされ、トンネルは水没してしまった。これによって工事は2年近く遅れ、日本のトンネル工事の中で一番高いコストのトンネルになった。

僕はこの現場で2件の特許を取得して、工